

(様式第4号)

上田市総合計画審議会（第2回産業経済部会） 会議概要

1 審議会名	上田市総合計画審議会（第2回産業経済部会）
2 日時	令和元年11月5日 午後3時00分から午後5時30分まで
3 会場	旧市民会館1階 第2会議室
4 出席者	宮下正明部会長、和田宏一副部会長、今井慎一郎委員、岡崎美都里委員、田島裕志委員、花岡欣二委員、宮坂文子委員、宮島真弓委員、柳島隆二委員、山崎孝子委員
5 市側出席者	大矢商工観光部長、工藤農林部長、宮島商工課長、長田地域雇用推進課長、青木観光課長、佐藤観光課付政策幹、小井戸農政課長、片山農産物マーケティング推進室長、高見澤森林整備課長、田中土地改良課長、大平移住交流推進課、下島広報シティプロモーション課シティプロモーション担当係長、斎藤高齢者介護課高齢者支援担当係長、西川農政課農業振興係長、水野商工課商工振興担当係長、加々井政策企画課政策企画担当係長
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和元年11月7日

協議事項等

1 開 会（商工課長）
2 あいさつ（部会長）
3 議事
（1）分野別意見聴取（市民意見の集約）について （事務局）前回の部会での意見を参考に、①観光関係の分野として、「別所温泉旅館組合」「鹿教湯温泉観光協会」②森林整備関係の分野として、「信州上小森林組合」③学生の意見として、「まちなかキャンパスうえだ」以上を事務局案として、提案する事としたい。 （部会長）事務局案とすることに決定して、開催日時については、事務局と調整し、別途連絡する。
（2）「前期まちづくり計画」の進捗状況及び「後期まちづくり計画」に向けた方向性等について （事務局）3-1-1地産地消の推進と土地農村交流による活性化について、3-1-2農林業の安定的な生産体制の整備と産地化の推進について説明 （委 員）台風19号により市内各地で甚大な被害が出たが、その状況を踏まえた後期まちづくり計画にするのか。 （事務局）今回の災害については、国、県等の支援も入り、現在、状況把握に努め、早期復旧に努めている。今回の後期まちづくり計画には含めないと考えている。 （委 員）前期まちづくり計画の検証を踏まえ、後期まちづくり計画へ新たな項目（取組内容）を加えても良いのでは。 （事務局）今日は、前期まちづくり計画の検証をしていただき、次回に後期まちづくり計画の素案を協議いただく。 （委 員）ふるさと納税に、別所温泉、鹿教湯温泉の割引券や農産物の返礼品があるが、成果指標として分かりやすく、ブランド化に繋がるため農産物等を活用したらどうか。 （事務局）ふるさと納税そのものについては、行財政部会が担当しているので、この意見を行財政部会へお繋ぎする。 （委 員）農産物やお酒を木パッケージにするなど、農業と林業の連携があっても良いのでは。 森林認証の成果として2020東京オリンピック体操競技場に日本産のカラマツの材木が導入された事例などを成果として掲載できないか。 SDGsの取組として森林や農業の視点を入れてほしい。 （事務局）3-2-1起業・創業支援と中小企業者の経営力強化、3-2-2地域経済を牽引する工業（ものづくり産業）の振興、3-2-3賑わいと活力ある商業の振興、3-2-4安心して働ける環境づくりと雇用創出について説明

(委 員) 質問なし

(事務局) 3-3-1 おもてなしで迎える観光の振興、6-2-1 上田の魅力発見、選ばれる都市づくりについて説明

(委 員) まちなか循環バス(周遊バス)は、あまり乗車がないが、今後も続けていくのか。観光大使等にSNSを積極的に活用して情報発信をしてもらう、とあるが何処かの大使のように1回につき数十万円の費用が掛かるなどのような間違ったお金の使い方はしないようにお願いしたい。

(事務局) まちなか循環バス(周遊バス)については、後期まちづくり計画に向けてルートを含め交通政策課と検討したい。著名人の情報発信については、上田の観光大使の方も積極的に情報を発信していただいております、料金発生しないようにする。

(委 員) 松本-上田間のバスも併せて検討をお願いしたい。

(事務局) 観光課と交通政策課が連携して時間帯やルートも含めて検討する。

(事務局) 全体を通してご意見を伺う。

(委 員) 地域おこし協力隊員の活動は、どのようになっているのか。

(事務局) 昨年、1人3年間の任期を満了し、今年、2人が任期を満了する予定。現在4人の隊員が活動中である。所属によっては、新たな隊員の募集についても検討している。

(委 員) クラインガルテンは何戸予定しているか。草刈り場との記載があるが、どのようなことか。農道の在り方の再考とあるが、どんなイメージか。ジビエの関係については、上田市として加工施設の建設はあるのか。農福連携のメインとなる部署はどこか。

(事務局) クラインガルテンの共有部分の草刈りが必要となるので、スマート農業の一環として、ラジコン等の自動草刈り機が実際に動いているのを見ていただく等が出来るのではないかと考えている。また、クラインガルテンは簡易宿泊施設9戸の建設を予定している。農業用であった農道が農村の宅地化により農道としての機能が薄れてきているため、上田市道に変えるとか、農道として活用するか再検討が必要である、という意味合いである。

ジビエの加工施設だが、上田市として施設を設置するには研究が必要と考えている。

農福連携は、障がい者支援課が窓口となっている。地域雇用推進課も若者の支援を行っているので、そのような視点で記載している。

どのような農作業が出来るかといった掘り起こし等の部分については、農政課となり、その農作業は、対応できるかといった部分は障がい者支援課になる。両方で連携していく事業である。

(委 員) 真田丸が放送する前は、上田のことを長野と言っていたが、今は上田と言ってくれている。影響が大きかった。歴史的につながりがある都市との交流は大切にしてほしい。特に子どもの時からの交流は大事と考えている。また、上田市はまだまだ観光資源が豊富で、マリコヴィンヤードは素晴らしい。地産地消の関係ですが、地元農産物の認定するお店や商品のメリットを上げていかないといけない。

(委 員) 上田の魅力発信についてだが、上田市や上田市出身の方が全国区になることが大変嬉しい。こちらからの発信することに工夫をしてほしい。上田市外の人の方が上田の魅力を分かっていることもある。

(委 員) 真田丸以来、観光客が増えている。先ほどのバスの話だが、まちなか循環バス(周遊バス)があってもいいかなと思う。知名度は上がってきている。

(3) その他

(事務局) 第1回部会会議概要について、ホームページに掲載する。また、訂正等あれば、会議終了後お知らせいただきたい。また、今後のスケジュールだが、第4回の部会を1月17日(金)午後1時30分から開催の予定。

#### 4 事務連絡

(事務局) 第3回部会が12月17日(火)午後1時30分となる。

#### 5 閉 会 (商工課長)